

## 第 61 回 かんもん景気ウォッチャー調査

### 《令和元年 11 月調査結果》

～ 消費税増税前の駆け込み需要の反動もあって、

関門地域の景気は、2 期連続の悪化

先行きは、さらに悪化の見込み

～

最終消費を中心とした関門地域の景気動向を、「第 61 回かんもん景気ウォッチャー調査」結果からみると、3 か月前と比べた景気の方角性判断 D. I. は 45.6 となり、2 期連続して“景気は横這い”であることを示す 50.0 を下回った。

現在の景気の水準判断 D. I. は、前回調査（令和元年 8 月）の 41.9 から 4.4 ポイント悪化して 37.5 となった。

景気の先行きの方角性判断 D. I. は、36.0 と、さらに悪化することが予想されている。

景気ウォッチャーによる判断を総合すると、関門地域の景気の現状は、消費税増税前の駆け込み需要の反動や、節約指向の強まりもあって、消費関連が低調に推移したことなどから 2 期連続で悪化した。

先行きについては、観光客が減少する時期となることなどから、さらに悪化することが予想されている。

照会窓口：調査室

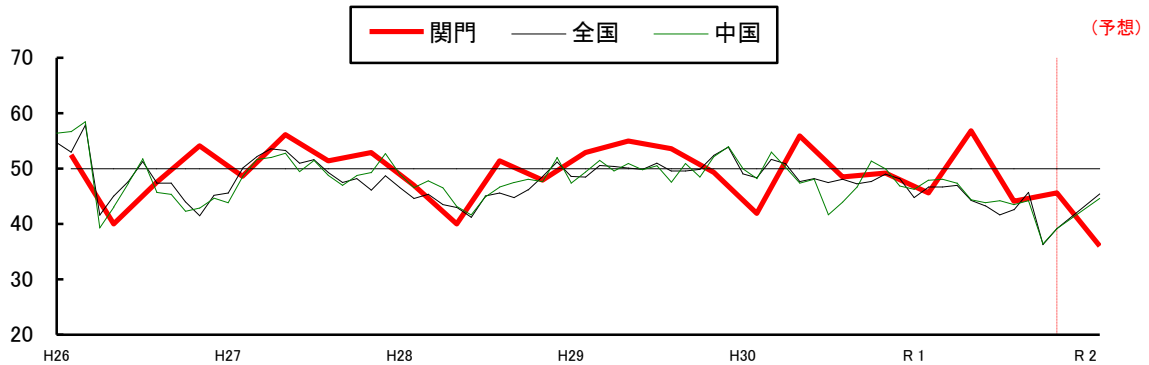
TEL：083-223-3632

## 調査結果概要

### 1. 景気の方角性に関する判断D. I.

#### ▽「景気の方角性判断D. I. の推移」(平成26年以降)【原数値】

【詳細はP6参照】



平成30年 11月実績	平成31年 2月実績	令和元年 5月実績	8月実績	11月実績	令和2年 2月予想
49.2	45.6	56.8	44.1	45.6	-
前回調査 予想 47.8	前回調査 予想 46.3	前回調査 予想 52.2	前回調査 予想 44.7	前回調査 予想 36.0	今回調査 予想 36.0

#### (1) 現在の景気の方角性判断D. I.

3か月前と比べた関門地域の現在の景気の方角性判断D. I. は、45.6 となり、2期連続して“景気は横這い”であることを示す 50.0 を下回った。

今期は、消費税増税による大きな落ち込みはないが、駆け込み需要の反動や、節約指向の強まりなどから、2期連続の悪化となった。

(内閣府令和元年11月調査結果：全国 39.2、中国 39.2)【原数値】

景気ウォッチャーからは、消費税増税による大きな落ち込みはないとしながらも、駆け込み需要の反動や、海外情勢、台風の影響で観光客

が減少するなど、例年に較べ低調との意見が多く聞かれた。

消費関連では、「消費税増税前は、売り出しの効果もあって、化粧品やリビング用品などが予想以上に好調であったが、増税後の落ち込みも大きく、節約指向が強まっている」（大型小売店）といった意見が聞かれた。

また、「消費税増税時期に併せて料金改定を予定していたが、国の影響緩和策から認可とならなかった。利用増が見込めない中、メーター調整経費が二重となり負担が増加する」（タクシー業界）、「増税前に認められたポイント還元等の広告の特需も落ち着いた」（印刷業）などの意見も聞かれた。

ポイント還元が実施されているキャッシュレス決済については、「顧客の支払い手段の選択肢として導入したが、売上増加に繋がるほどの効果はない」という意見が多い。

今後導入を計画している業者もあるが、ポイント還元終了後のコスト負担増を懸念する意見もある。

観光関連では、「9月以降、韓国からのツアー客がストップした。台風の影響による関東方面からの観光客の減少も影響して例年を下回った」（ホテル、飲食業）、「外国人観光客は、中国、台湾が増加しており、全体では大きな変化はないが、韓国からの観光客の減少が売上の減少に繋がっている」（商工団体）、「主力の韓国旅行が激減している。他の地域は大きな変化はない」（旅行会社）といった、海外情勢や台風の影響から例年を下回ったとの意見が多く聞かれた。

そのような中で、「台風のため、東北、北海道方面行きのクルーズ船の目的地変更による下関寄港や、学会の開催効果もあってスポット的に賑わった」（商工団体）といった意見も聞かれた。

また、東京オリンピックの工事が一段落し、鉄骨建築の部品の供給が元に戻ったが、門司港レトロ地区に予定されている温浴施設は未着

工となっている。

## (2) 景気の先行きの方向性判断D. I.

3か月先（令和2年2月頃まで）の景気の先行きの方向性判断D. I. は、節約指向が継続するなかで、海外情勢の影響を懸念する意見が多く、観光客が減少する時期となることもあって、36.0と、さらに悪化することが予想されている。

（内閣府令和元年11月調査結果：全国45.5、中国44.7）【原数値】

景気の先行きについて、景気ウォッチャーからは、当面は上向く要因がなく、観光関連を中心に、天候に左右されるとする意見が多く聞かれた。

また、キャッシュレス決済のポイント還元や、東京オリンピック終了を契機に、景気の落ち込みが懸念されており、マイナンバーカードを普及させるためのポイント還元が予定されているものの、効果については不透明とする意見が聞かれた。

消費関連では、「消費税増税に加え、人件費や材料費の上昇なども価格に転嫁されており、年末需要期を過ぎると節約指向がより強くなる」（商工団体）、「キャッシュレス決済のポイント還元の効果は僅かで、業態間の競争が激しさを増す」（スーパー）、「節約指向の長期化と、来春のリニューアルに向けた売場の一部閉鎖による売上の減少が懸念される」（大型小売店）といった意見が聞かれた。

観光関連では、「観光客の落ち込む時期となり、韓国からのツアー再開に期待するが、上向くかどうかは不明」（商工団体）、「シーズンに入った「ふく」が高値で推移しており、年末需要は見込めるが、年明け以降の動向は天候にも左右される。寒くならないと宴会需要も少ない」（ふく仲卸）といった意見が聞かれた。

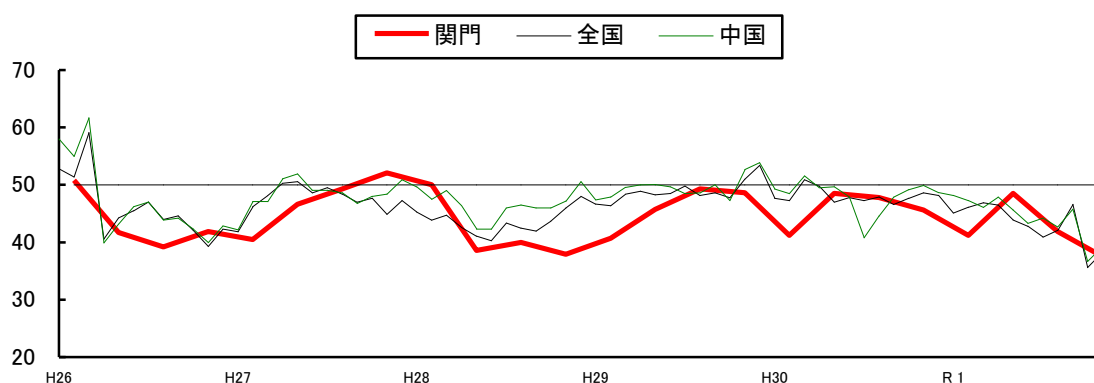
そのような中で、異業種間の意見交換により開発された商品による、プレゼンテーション型商談会（山口県大会）が下関で開催されるなど、地元商品の販路拡大に向けた取組みも行われている。

## 2. 景気の水準に関する判断D. I.

現在の景気の水準に関する判断D. I. は、前回調査の41.9から4.4ポイント悪化して37.5となった。

### ▽「景気の水準判断D. I.の推移」（平成26年以降）【原数値】

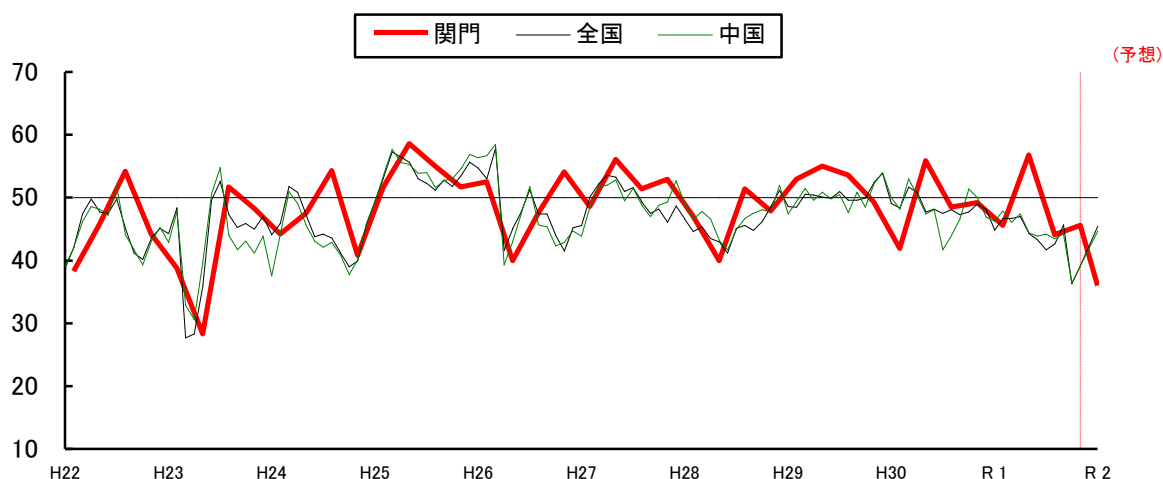
【詳細はP7参照】



	平成30年 11月実績	平成31年 2月実績	令和元年 5月実績	8月実績	11月実績
関門地域	45.6	41.2	48.5	41.9	37.5
全国	48.6	46.1	43.9	42.1	38.3
中国地域	49.9	47.3	45.6	42.7	39.3

【 参 考 】

「景気の方角性判断D. I. の推移」(平成 22 年以降) 【原数値】

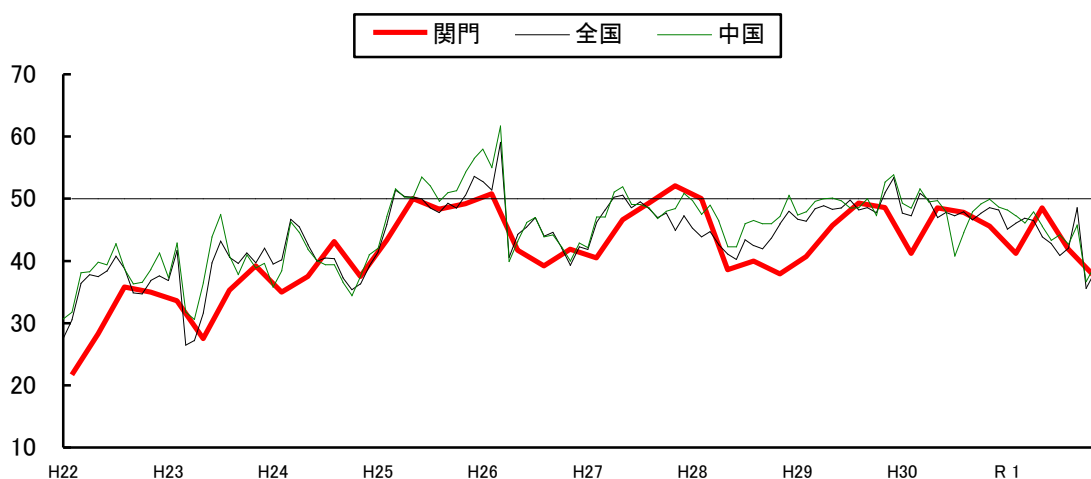


(全国、中国地域は毎月調査)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
関 門 地 域	H22		38.3			45.8			54.2			44.2	
	H23		38.8			28.3			51.7			48.3	
	H24		44.2			47.5			54.3			40.8	
	H25		51.7			58.6			55.0			51.7	
	H26		52.5			40.0			47.5			54.1	
	H27		48.6			56.1			51.4			52.9	
	H28		47.0			40.0			51.4			47.9	
	H29		52.9			55.0			53.6			49.3	
	H30		41.9			55.9			48.5			49.2	
	R 1		45.6			56.8			44.1			45.6	
	R 2		36.0	(予想)									
全 国	H22	38.8	42.1	47.4	49.8	47.7	47.5	49.8	45.1	41.2	40.2	43.6	45.1
	H23	44.3	48.4	27.7	28.3	36.0	49.6	52.6	47.3	45.3	45.9	45.0	47.0
	H24	44.1	45.9	51.8	50.9	47.2	43.8	44.2	43.6	41.2	39.0	40.0	45.8
	H25	49.5	53.2	57.3	56.5	55.7	53.0	52.3	51.2	52.8	51.8	53.5	55.7
	H26	54.7	53.0	57.9	41.6	45.1	47.7	51.3	47.4	47.4	44.0	41.5	45.2
	H27	45.6	50.1	52.2	53.6	53.3	51.0	51.6	49.3	47.5	48.2	46.1	48.7
	H28	46.6	44.6	45.4	43.5	43.0	41.2	45.1	45.6	44.8	46.2	48.6	51.2
	H29	48.6	48.5	50.6	50.4	50.1	49.9	51.0	49.6	49.6	49.9	52.4	53.9
	H30	49.1	48.4	51.7	50.9	47.7	48.2	47.5	48.1	47.3	47.7	49.0	48.2
	R 1	44.8	46.7	46.7	47.0	44.3	43.3	41.7	42.6	45.7	36.3	39.2	
	R 2		45.5	(予想)									
中 国 地 域	H22	39.1	42.1	46.2	48.6	48.2	47.2	51.8	44.1	41.7	39.3	43.1	45.3
	H23	42.9	47.8	32.9	30.6	39.8	50.6	54.8	44.0	41.7	43.1	41.2	43.9
	H24	37.6	44.2	51.0	49.1	45.6	43.1	42.1	42.9	40.9	37.8	40.2	45.9
	H25	49.4	53.6	57.7	55.6	55.3	53.9	54.0	51.6	52.7	53.0	54.6	56.9
	H26	56.4	56.7	58.5	39.3	43.1	47.4	51.8	45.7	45.4	42.3	42.9	44.7
	H27	43.9	48.6	51.7	52.0	52.8	49.5	51.5	48.8	47.0	48.8	49.3	52.7
	H28	49.0	46.6	47.8	46.6	43.2	41.7	44.9	46.7	47.5	48.1	47.7	52.0
	H29	47.4	49.4	51.5	49.6	50.9	49.8	50.5	47.6	50.9	48.5	52.2	54.0
	H30	50.0	48.2	53.0	50.3	47.4	48.1	41.7	44.0	46.7	51.4	50.0	46.9
	R 1	46.3	47.9	46.1	47.4	44.4	43.9	44.2	43.5	44.2	36.4	39.2	
	R 2		44.7	(予想)									

【 参 考 】

「景気の水準判断D. I. の推移」(平成 22 年以降)【原数値】



(全国、中国地域は毎月調査)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
関 門 地 域	H22		21.7			28.3			35.8			35.0	
	H23		33.6			27.5			35.3			39.2	
	H24		35.0			37.5			43.1			37.5	
	H25		43.3			50.0			48.3			49.2	
	H26		50.8			41.7			39.2			41.9	
	H27		40.5			46.6			49.3			52.1	
	H28		50.0			38.6			40.0			37.9	
	H29		40.7			45.7			49.3			48.6	
	H30		41.2			48.5			47.8			45.6	
	R 1		41.2			48.5			41.9			37.5	
	R 2												
全 国	H22	27.6	30.6	36.4	37.8	37.5	38.4	40.8	38.8	34.9	34.7	36.9	37.6
	H23	36.9	41.7	26.5	27.2	31.7	39.7	43.2	40.6	39.6	41.3	39.7	42.1
	H24	39.5	40.2	46.7	45.5	42.6	40.0	40.5	40.4	37.3	35.4	36.3	39.2
	H25	41.5	45.9	51.4	50.4	50.3	50.0	48.5	47.8	49.3	48.5	50.6	53.6
	H26	52.8	51.4	59.1	40.6	44.3	45.5	47.0	44.0	44.6	42.1	39.3	42.3
	H27	41.9	46.2	48.2	50.3	50.6	48.6	49.5	48.4	47.0	47.7	44.9	47.3
	H28	45.3	43.9	44.7	42.6	41.1	40.3	43.4	42.5	42.0	43.7	46.0	48.0
	H29	46.7	46.4	48.4	48.9	48.3	48.5	49.8	48.2	48.6	47.8	51.0	53.4
	H30	47.7	47.3	50.9	49.8	47.0	47.8	47.3	47.9	46.6	47.7	48.6	48.2
	R 1	45.1	46.1	46.9	46.5	43.9	42.8	40.9	42.1	46.6	35.6	38.3	
	R 2												
中 国 地 域	H22	30.7	31.8	38.1	38.3	39.8	39.4	42.8	38.7	36.3	36.6	38.7	41.3
	H23	37.3	42.9	31.8	30.6	36.5	43.9	47.5	40.8	37.8	41.0	38.9	39.6
	H24	35.8	38.5	46.3	44.6	41.9	40.1	39.4	39.4	36.6	34.4	37.6	41.0
	H25	42.1	47.2	51.6	50.3	50.2	53.5	52.1	49.6	51.0	51.3	54.3	56.5
	H26	58.0	55.0	61.7	39.9	43.2	46.2	47.0	43.9	44.2	42.3	40.0	42.9
	H27	42.2	47.1	47.1	51.1	51.9	49.1	49.1	48.6	46.8	48.0	48.4	50.9
	H28	49.7	47.5	49.0	46.4	42.3	42.3	46.0	46.5	46.0	46.0	47.2	50.6
	H29	47.4	47.9	49.6	50.0	50.1	49.7	48.5	48.6	50.0	47.3	52.7	53.9
	H30	49.3	48.5	51.6	49.5	49.7	47.9	40.8	44.6	47.9	49.2	49.9	48.7
	R 1	48.2	47.3	46.1	47.9	45.6	43.3	44.2	42.7	45.8	36.7	39.3	
	R 2												

## かんもん景気ウォッチャー調査の概要

### 1. 調査の目的

関門地域の、景気に関連の深い動きを観察できる立場にある方々から、景気の現状、先行きに関するご意見を伺い、関門地域の景気動向判断を行うことを目的とする。

### 2. 調査の範囲

- ① 対象地域：下関市および北九州市門司区の関門地域。
- ② 調査対象：個人消費動向を中心に景気動向を観察できる方々34人。  
製造業（5人）、建設業（3人）、大型小売店・専門店等（4人）、  
飲食店関係（4人）、運輸業（2人）、タクシー業界（3人）、  
観光関連（6人）、商工業団体等（7人）

### 3. 調査事項

- ① 景気の現状に対する水準・方向性判断及び判断理由
- ② 景気の先行きに対する方向性判断及び判断理由

### 4. 調査時期

年4回（2月、5月、8月、11月）

### 5. D. I. の算出方法

景気の現状、又は先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を、各回答区分の構成比（%）に乗じて、D. I. 値を算出。

【評価】	【点数】
良い・良くなる・良くなっている	… +1.0
やや良い・やや良くなる・やや良くなっている	… +0.75
どちらとも言えない・変わらない	… +0.5
やや悪い・やや悪くなる・やや悪くなっている	… +0.25
悪い・悪くなる・悪くなっている	… 0

### 6. D. I. の見方

D. I. は、「50」を基準点として、上回れば「良い（良くなる）」との見方が多く、下回れば「悪い（悪くなる）」との見方が多いことを示す